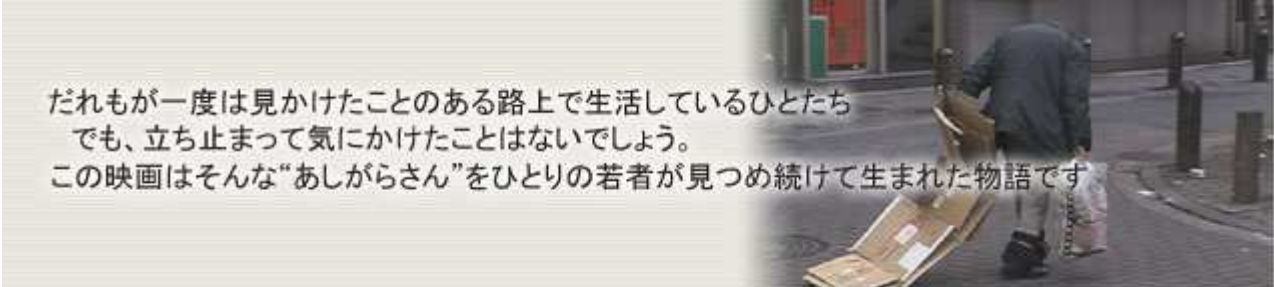


映画「あしがらさん」上映会・トーク開催のお知らせ

2013年3月8日(金) 15時00分～ (6101教室)



だれもが一度は見かけたことのある路上で生活しているひとたち
でも、立ち止まって気にかけてたことはないでしょう。
この映画はそんな“あしがらさん”をひとりの若者が見つめ続けて生まれた物語です

2013年3月8日(金)

4 時限(15:00—16:30) ドキュメンタリー映画「あしがらさん」(2002年制作/ビデオ/73分)

5 時限(16:40—18:10) 飯田基晴監督のトーク

+『「ホームレス」と出会う子供たち』(30分)の上映

会場:文教大学 湘南キャンパス6号館1階 6101教室

お問い合わせ :国際学部事務室(0467-53-2111):a9w41015@shonan.bunkyo.ac.jp (中道)

※入場無料・予約不要・一般の方もご参加ください(バスをご利用ください)。

映画ホームページ <http://www5f.biglobe.ne.jp/~ashigara/>

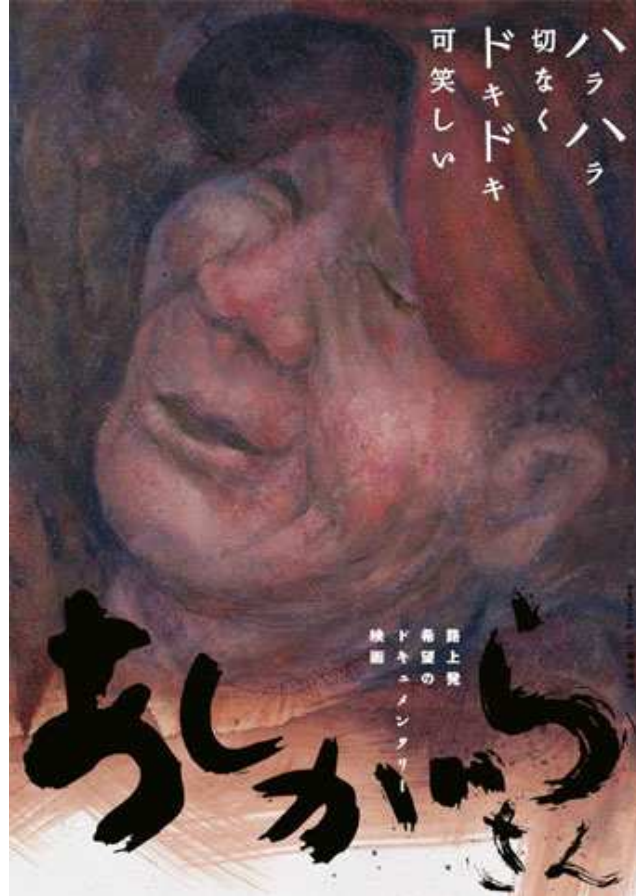
予告編 <http://www.youtube.com/watch?v=HpDxDto4sUA>

DVD「ホームレス」と出会う子どもたち 紹介ビデオ

<http://www.youtube.com/watch?v=EiJpcihzxS8>

あしがらさんは20年以上も新宿の路上で生きてきた。

残飯で飢えをしのぎ、心を閉ざして誰とも付き合わない。あるときあしがらさんの笑顔に触れた作者は「このひとをもっと知りたい」そんな気持ちでカメラを回し始める。ポツポツと語られる言葉に耳を傾け、二転三転する状況に寄り添う。撮る者と撮られる者、3年におよぶ撮影でいつしか生まれた信頼が、思いもかけない変化をもたらす。新たな人生を歩み出したあしがらさんの姿は、私たちに微笑みと希望を与えてくれる。それは「人生とは？希望とは？人とのつながりとは？」と静かに問いかけているのかもしれない。



【飯田基晴】 (写真：右)

[監督・撮影・制作]

1973年生まれ。95年、原一男監督の「CINEMA」塾に参加。その後、96年より新宿でボランティアとして野宿の人々と関わる。98年よりビデオ、テレビ等で野宿者の状況を発表。現在はフリーで映像制作を行う。自主制作での長編ドキュメンタリー映画は本作が1本目。

[→監督のことば](#)

【あしがらさん】 (写真：左)

昭和7年(2004年現在71歳) 満州で生まれる。幼少期に母と別れ、南満州鉄道株式会社勤める父親のもとで育つ。敗戦後は青森で過ごし、20歳前後で上京。建築、営業など様々な職につく。(以上本人談) そして20年以上に及ぶ野宿生活のすえ...



【後藤浩二】

1969年生まれ。94年よりボランティアグループ「スープの会」に参加し、新宿で野宿する人々への訪問活動を始める。2000年にスープの会を母体として地域生活支援ホーム「おもかげ舎」を設立し、ソーシャルワーカーとして勤務。現在、「あかとき舎」「やまぶき舎」と合計3施設を運営する。